

## 令和4年(1～12月)における火災の状況(確定値)

防災情報室

## 1 総出火件数は36,314件、前年より1,092件の増加

令和4年(1～12月)における総出火件数は、36,314件で、前年より1,092件(3.1%)増加しています。これは、平均すると1日当たり約99件、約14分ごとに1件の火災が発生したことになります。また、火災種別で見ますと、次表のとおりです。

令和4年(1～12月)における火災種別出火件数

種別	件数	構成比	前年比	増減率
建物火災	20,167	55.5%	618	3.2%
林野火災	1,239	3.4%	12	1.0%
車両火災	3,409	9.4%	▲103	-2.9%
船舶火災	78	0.2%	15	23.8%
航空機火災	2	0.0%	2	—
その他火災	11,419	31.4%	548	5.0%
総火災件数	36,314	100%	1,092	3.1%

## 2 総死者数は1,452人、前年より35人の増加

火災による総死者数は、1,452人で、前年より35人(2.5%)増加しています。また、火災による負傷者は、5,750人で、前年より317人(5.8%)増加しています。

## 3 住宅火災による死者(放火自殺者等\*を除く。)数は972人、前年より6人の増加

建物火災における死者1,173人のうち住宅(一般住宅、共同住宅及び併用住宅)火災における死者は、1,065人となっています。更にそこから放火自殺者等を除くと972人で、前年より6人(0.6%)増加しています。

なお、建物火災の死者に対する住宅火災の死者の割合は、90.8%で、建物火災の件数に対する住宅火災の件数の割合56.6%と比較して非常に高くなっています。

(※ 放火自殺(心中を含む。)者及び放火自殺巻き添え・放火殺人の犠牲者。以下同じ。)

## 4 住宅火災による死者(放火自殺者等を除く。)の約75%が高齢者

住宅火災による死者(放火自殺者等を除く。)972人のうち、65歳以上の高齢者は731人(75.2%)で、前年より15人(2.1%)増加しています。

また、住宅火災による死者の発生した経過別の内訳は、逃げ遅れ426人(前年比46人(9.7%)減)、着衣着火41人(前年比4人(10.8%)増)、出火後再進入15人(前年比4人(36.4%)増)、その他490人(前年比44人(9.9%)増)となっています。

## 5 出火原因として最も多いものは「たばこ」、次いで「たき火」

総出火件数の36,314件の出火原因別の内訳は、「たばこ」3,209件(8.8%)、「たき火」3,105件(8.6%)、「こんろ」2,771件(7.6%)、「放火」2,242件(6.2%)、「電気機器」1,960件(5.4%)の順となっています。

お問合せ先  
消防庁防災情報室  
03-5253-7526